



浪江町と南相馬市の 連携に向けて



平成29年6月1日



ロボット分野に関する連携の推進

(1) 各種イベント等の取り組み

➤ ドローン教室の開催

南相馬市で、既に延べ1千名を超える市民を対象に開催してきたロボット教室を、浪江小学校・中学校の生徒や保護者を対象に開催します。

【平成29年度～】



➤ 「World Robot Summit」

成功に向けた協力

2020年に南相馬市で一部競技が開催予定となっている同大会を、両市町の協力により盛り上げ、世界に向けて浜通りの復興をアピールします。



図：経産省プレスリリース発表資料より

(2) ロボットテストフィールド予定地周辺インフラの整備

道路の拡幅等、利便性を高めるインフラの整備に向けた相互協力を行います。



(3) 両市町の連携によるトップセールス

平成28年10月12日、南相馬市は、浪江町と連携し、全国のロボット関連企業・研究機関等に対し、両市町がロボット産業発展に向け貢献する用意があることを伝えるべく、東京都において「ロボット産業セミナー」を開催しました。

今年度も両市町協力のうえ、同様のセミナーを開催し、ロボット産業における両市町の存在感をさらにアピールしてまいります。【平成29年10月】



(4) 自動走行バスの実現

将来の公共交通の維持のため、自動走行バスの勉強会を立ち上げ、連携して本格運行実現に向け取り組みます。【平成29年7月～】



(5) 有害鳥獣対策におけるドローン等の活用実証

避難指示が出されていた期間に、イノシシ等の鳥獣の行動範囲が拡大したことによる有害鳥獣対策は、両市町に共通する大きな課題の一つです。

浪江町をモデル地域とし、ドローンによる有害鳥獣の位置情報取得、追い払い等の実証実験が行われています。

これらの試みで得られた知見を両市町で共有し、目撃情報等を集積したハザードマップの作成等の取り組みで連携していきます。

また、両市町での取り組みを12市町村に展開していきます。



【平成29年度～】